

任期も残り1年！全力疾走！



第1回定例道議会 予算特別委員会での質問

春暖を向え、皆様いかがお過ごしでしょうか。私はこの季節になると統一地方選挙を思い出します。三年前、皆様のご支援、ご協力を賜り、北海道議会議員に初当選させて頂きました。あの時感じた感謝と責任は今も忘れることができません。

さて、現在の道政は財政難という大問題を抱えながら、道民や地域を無視した知事の姿勢が露骨になっております。私も道議会活動を通じ、こうした知事の道政運営を見直すよう指摘してきておりますが、解決すべき道政課題は多々あります。

一方、国政では政権交代が実現し、私が取り組んできた自治体財政や地域医療分野でも、地域再生に向けた政策転換の第一歩が踏み出されました。しかし、現政権は半世紀に及ぶ官僚政治から国民本位の政治に転換しようと、まさに生みの苦しみを続けています。この変わるうとして世の中の流れを止めないためにも、夏の参院選では民主党が本領を發揮しなければなりません。

私も地域で生活する皆様の不安や怒りを背に、残り一年の任期を全力疾走します！今後とも宜しくお願いいたします。

北海道議会議員

稲村久男

稲村ひさお

道政 だより



発行
稲村ひさお事務所

〒073-0113
 砂川市晴見3条
 北10丁目9番4号
 TEL0125-54-3385
 FAX0125-54-3385



各地で行われたメーデーに参加



「新春の集い」で道政活動を報告



職場訪問し地域の問題について意見交換



視察先で報道陣のインタビューを受ける



北海道消防学校で心肺蘇生を学ぶ



支援者の訴えに真剣に耳を傾ける

第1回定例道議会 予算特別委員会での質問

地域医療対策について

1. ドクターヘリの出動実績などについて
2. 救急救命センターの現状について
3. ドクターカーの導入について
4. 周産期救急搬送コーディネーターの配置について
5. 地域医療再生交付金の活用について
6. 広域化・連携構想の促進について
7. 救急医の育成・確保について
8. 今後の救急医療体制の充実に向けた財政支援等について

道立試験研究機関の 地方独立行政法人化について

1. 成果の還元について
2. 外部との連携について
3. 職員の採用について
4. 人材の育成について
5. 道民などの意見について

